

島根県作業療法士会 令和3年度 第5回理事会 議事録

日時：令和4年1月22日(土) 13:30~16:30

場所：Web会議 (Zoom 使用)

出席者：小林央、森脇、陶山、石川、石田、稲垣、岩根、岩本、川上、佐藤千、錦織、西村、原田、
福代、古田、堀江、山根、山本、吉岡、角 以上 20名

委任状：篠崎、岸、佐藤佑、田中、稲垣 以上 5名

1.会長挨拶

2.報告事項

●運転と作業療法委員会

研修開催時の問題点・改善点

：申し込みフォームがネット経由上の場合、不備がないかテスト操作や確認してから広報を行う。

●広報部

：HP アクセス数の報告。目的は広報の効果判定の一部とするため。アクセス数、経由媒体 (SNS 種類) 他、データ蓄積し傾向をみていく。

●精神科作業療法グループ

研修開催時の問題点・改善点

：開催前にポイント申請という手違いあり。開催後に岩本部長に申請を。

メールアドレスを誤った送信あり。送信時はより注意を払うこと。

3.企画事項

●広報部：新ホームページへの投稿方法の伝達講習会開催。 3日間のいずれかに参加を。

●第16回島根県作業療法学会

当日プログラム、予算案の提示あり。内容・予算案について検討。

基本的にはオンライン開催 実技研修は複数会場 (3か所) を設定し密を避ける計画
学会開催に向けて学会長より講師へ依頼した内容について共有

●運転と作業療法委員会

1.パンフレット内容の修正、2.運転支援施設一覧表の修正について

1.免許返納時に利用可能なサービスの記載許可を各市町村に確認し進める。脳卒中の症状については詳細を追加記載予定。 2.一覧表は県内 OT での共有を想定している。

意見：1.題名や目的をはっきり記載すると良い。

●地域支援事業委員会

介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会

4.協議事項

●保険部

→企画書として承認

次年度計画：LINE「オープンチャット機能」を利用したネットワークづくり

●学術部

→承認

来年度査読委員公募の方法・時期について

1.査読委員の公募方法と時期 1)方法 2)時期 3)人数

1)従来の方法で実施 2)4月1日開始を目標 県学会発表査読も想定 委嘱状は4月1日で良い

●MTDLP委員会

→承認

1.現状 2.検討事項と提案 3.提案内容の実行は良いか

1.指導者8名で協力しながら進める (島根県指導者人数：対会員比率は高い)

2.基礎研修と間を置かず書き方研修開催 3.指導者に普及・啓発へ向けて協力を願う

体制について：副委員長の退任あり、理事会でも支援を。保険部との協力体制、連携を。

●災害対策委員会

→承認

次年度計画：災害発生時の会員安否確認

ブロックメールが施設単位での登録や登録未の会員あり。会員個別への連絡方法を継続検討。

- 事業部** →承認
 新入会者に対する士会オリエンテーションについて
 : 対象は全学生（他県への就職者も含めて）「協会員=士会員」の方向性でもあるため
 協会、士会合同でも調整している
- 事業部** →承認
 作業療法リモートフェスタ 2021 動画作成について
 予算：フレームすべて外注でも予算内で可能
 意見：「作業療法」の関わりが表現されると良い。作業療法に関わらない人が見たときに伝わるか
 どうかも検討してはどうか。 *フレーム：動画の開始 10 秒程度に目的など提示するもの
- 特別支援委員会** →承認
 2022 年度 事業計画案について
 意見：オンライン研修 他県で実際に支援に携わる OT に講師依頼してはどうか。
- 事業部** →承認
 2022 年度 中国地区合同研修会について 島根県がホスト県
 : 今後四役会と事業部で会議し詳細を決定。（開催要項、予算、役割分担など）
 : 5 つ程度のテーマでグループワーク実施、人材育成の研修。 福利部と共同で懇親会も企画予定。
- 財務部** →承認
 2022 年度 予算案について
 説明：役員行動費はコロナ禍での活動と想定し設定。予備費が近年は少ない状況である。
 次年度各部予算の再検討を依頼。次年度の予備費目標値を 30~40 万としたい。
 会長より 全体予算をみながら優先順位付けも必要。重点活動項目とのひも付けも。
 監事より 現時点での事業未遂行状況は？計画した活動は年度をまたがないように遂行を。
 →事業部動画作成、実習指導者研修、活動費一括支給での支出を予定。
- 事務局 庶務部** →承認
 「協会員=士会員」に向けた今後の取り組み 県士会の方向性について
 説明：「会員の個人情報取り扱いに関する覚書」について協会と県士会の締結について決議は
 理事会か総会決議を協議したい。
 会長より：総会決議で 530 名の会員から総意を得る。多方向からの検討も必要。
 意見：県士会として提供する個人情報内容の範囲を明確に定義づけしておくが良い。
 （総会時の質問に対して返答できるように）
 意見：取り組みの中で会員離れも懸念されるため丁寧にすすめていく。

5.監事より

年度末に向けて活動や予算が適切に執行できているか監事として確認していく。
 生涯教育ポイント申請にまつわる管理、相互チェックを。

6.会長より

事業遂行の清算：次年度は前期・後期で予定する。
 事業の年度内遂行を。
 引き続き、情報が全ての会員へ届くように形作っていく。

=====
 次回 令和 3 年度（2021）第 6 回理事会

日時：令和 4 年 3 月 26 日（土）13:30~16:30

場所：Web 会議予定

内容：各種協議事項

=====